

POWER PLAYS SOUND

Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.

頭の中に存在するフレンチ＝
「妄想フレンチ」こそオシャレ



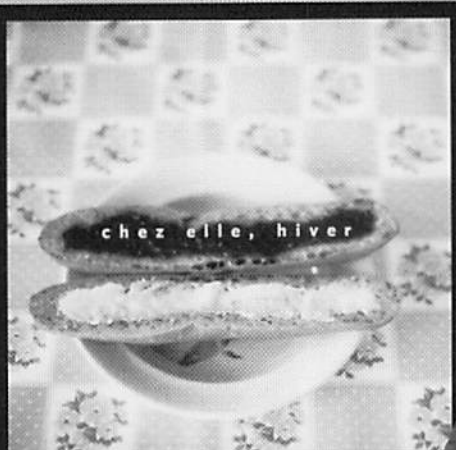
ANNA
オリジナル・サウンドトラック
ユキオキイタター・フジキョウ 2007 (映画)
「今まで見たことがないけれど、記憶の片断にあるような幻想的な感覚が浮かんでくる。素晴らしいサウンドアルバム!」
ゲンスブールが音楽監督だった映画は、仏映画にしては珍しいミュージカル。



MADFRENCH JAPANESE
サエキけんぞう
MADFRENCH 2000円 (税別)
セルジュ・ゲンスブールのデビュー曲「リラの門の切符切り」のカバーなど、マツコ・デラックスに選ばれる。「テノノこい」狂ったフレンチのことが、俺の考えるフレンチ。そんな気持ちが出まわっている!」



the genius of BERTRAND BURGLAT
BERTRAND BURGLAT
L'APPAREIL-PHOTO 2500円 (税別)
奇才ベルtrand・ブルガラのプロデュースのコンピレーション。「一番新しいフランスのポップス。こんな幻想的なサウンドはフレンチなセンスでしか生まれない!」
「テノノこい」狂ったフレンチのことが、俺の考えるフレンチ。そんな気持ちが出まわっている!」



chez elle, hiver / キャトルセゾン + サエキけんぞう
JLA Amusement 2500円 (税別)
「これがフレンチ!」と日本人が思える、極上のフレンチポップを'90年代のアーティストのみで構成。実はアメリカやカナダのグループの曲も入っていて、こんなところにも「妄想フレンチ」が、パリ発の雑貨店・キャトルセゾンとのコンピレーションアルバム



サエキけんぞう / ミュージシャン
【毎日】へも連載中!

<http://saekingdom.tv/>

「70年頃、喫茶店の有線から流れてきたセルジュ・ゲンスブールの『ジュテーム』がかっこよくて」フレンチに開眼、ゲンスブール研究会の幹事を務めて8年目、ゲンスブールのデビュー曲「リラの門の切符切り」で遂に仏メジャーデビューも果たしたサエキけんぞう氏。さぞかしフレンチ大絶賛?と思いきや、「いわゆるフレンチポップとは、僕も含めて日本人が持っている『オシャレなフランス』のイメージで、実際フランスで聴かれているのはこぶしが叫んでいる『演歌』が主流。ゲンスブールは異端だから (笑)」とフランス≠オシャレときっぱり。フランスよりもかっこいいフレンチ・レーベルが存在し、日本人がひとりひとり都合よく捉えたイメージゆえ「日本は名だたるフレンチ王国」というのだ。「テクノっぽいフレンチ=俺のフレンチ」というサエキ氏。「これからの狙いは『日本人のフレンチ』を逆輸出すること」と息巻く。イメージが専科培養したものの中にこそ、王道があるというパラドックスを楽しみつつしているようだ。

スリリング感を楽しみたいアナタ 競艇セミナーに参加してみては?

競艇セミナーの僕が競艇場へと初めて足を運んだのは、1月6日のこと。びわこボート主催の競艇セミナー参加の様子を、抽選で手に入れたのがキッカケだ。その時の様子を説明すると、まずはセミナー会場の大津プリンスホテルへ、セミナーの内容は、競艇はやってみたいけど買い方がわからないとか、難しいので挑戦してみたいけど買い方がわからないとか、競艇選手がゲストで登場したり、ゲームを楽しんだり、楽しくって大盛り上がり。ランチタイムの後は、いよいよ競艇場へと場所を移して、指定席(めったに入れないらしい)で競艇。もちろん、買ったばかりのやり方で、100円から買うことができる舟券を買ってみたい、残念ながら外れたけど、的中する人もいて、これもまた盛り上がりがないわけがない。レースの後は、選手が乗ると同じボートにペアで試乗したり、充実の一日を過ごせて大満足。次は友達を誘って再挑戦とか、あるいは、それから次のセミナーは3月6日(土)に開催予定、詳しい参加応募方法は、CF4月号(3月1日発売)にて掲載されるから、見逃さないで!



●びわこ競艇
大津市茶ヶ崎1-1
☎077-522-0314
☎077-527-0999
(結果案内テレホンサービス)
<http://www.biwako.gr.jp/>

趣味はゴルフの内村店長。「いつでも練習なので即コースに出るんですよ」とここでもアクティブなキャラは健在



子供とお遊ばちゃんには弱くて
気付いたら何があけてるの...



思い立ったら吉日で、なんでも即行動しないと納まらない内村兼子店長。そんなボリシ「お酒は弱いけど、奈良まで行って飲み明かすにいきますよ」とのアクティブっぷり。花屋をライフワークにして、営業職から転向したのは1年前。アレンジ学校に通っていたものの、「すぐに手に職をつけるために、やっぱり現場に出たい!」とお店での修業を決め、ソントン拍に花職人への夢をもちかえた。店長となった今も「お客さんからは、日々勉強させてもらってます」とそのイキオイは衰えないが、目下子供とお遊ばちゃんの笑顔には緊張も緩んで、ついつい「オマケしちゃう」とか。もしや錦市場の活気一端を支えているのは、アクティブ肌の彼女か?と。



●錦花つね にしきはなつね
京都市中京区錦小路通富小路西入ル東魚屋町
☎075-223-3487
◎10:30~19:00/無休



今月は「HATCHI」の小野菜亭店長からの紹介です